

会社紹介

BOLDLY
UPDATE MOBILITY



BOLDLY
UPDATE MOBILITY

BOLDLY株式会社
BOLDLY Inc.

設立年月日 2016年4月1日

代表取締役社長 佐治 友基

株主 ソフトバンク株式会社(100%)

事業内容

- ①自動運転車の導入・運用に係る調査・コンサルティング事業の企画
- ②旅客物流・貨物に関する情報サービスの提供、開発・運営事業の企画
- ③物体検出技術を利用したシステム構築・研究開発および調査
- ④前各号に付帯する一切の事業



30車種以上と接続可能な自動運転車両
プラットフォームを開発

ソフトバンク株式会社発 自動運転ベンチャー



2020年4月1日付 社名変更

SB Drive →

ボードリー
BOLDLY

：太く・くっきりとした 交通網をつくる
：大胆に 事業に挑戦する

和名：BOLDLY株式会社
英名：BOLDLY Inc.

事業ドメイン

自動運転車の開発は
行っていません



自動運転車を使った
ビジネスモデルの構築



FMS(フリートマネジメントシステム) = 乗客見守や車両遠隔監視のシステム

技術 / サービス提供

国内最多の自動運転バス実証実績、複数メーカーとの協業から得られた洗練されたノウハウや技術を提供します。
例えば3Dマッピングは、世界中でBOLDLYだけがNAVYA社から唯一許可を受けて実施しています。

車両選定 ~ メーカー交渉



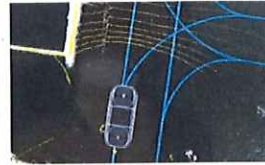
Dispatcherの提供



3Dマップデータ収集



自動運転セッティング



人材育成 / オフィシャルライセンス発行 / 各種コンサルティング

現場運用の仕組み作り・人材のスキル習得支援から、政府や自治体と連携した前例のない規制緩和の実現まで行います。

Dispatcher遠隔監視員育成



ARMAオペレータ育成



現場オペレーション構築



ディ ス パ ッ チ ャ ー

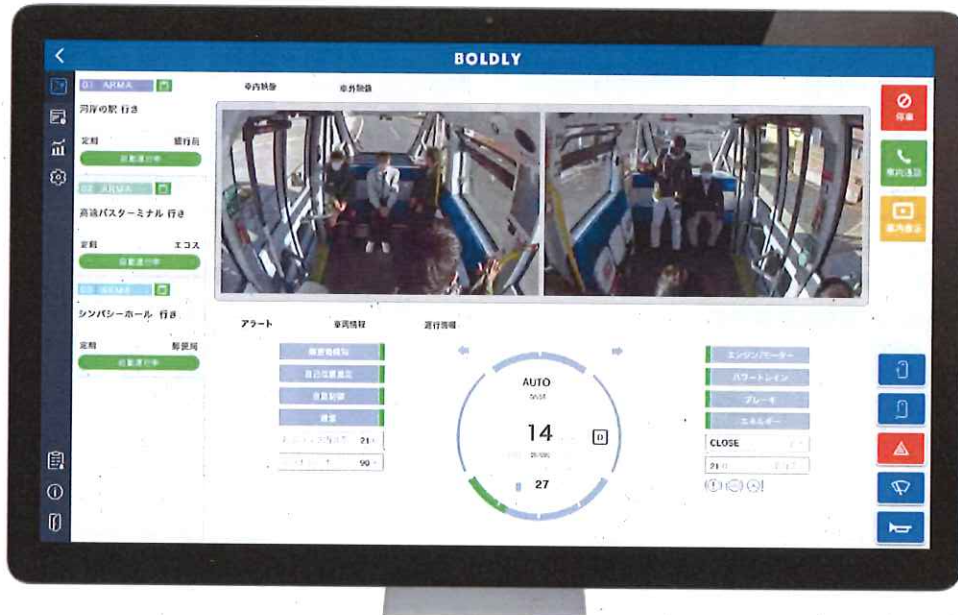
DISPATCHER

**自動運転車を遠隔地から
安心安全に運行管理できるシステム**

YouTube動画

<https://youtu.be/3Tb1Vsw9kLk>

世界中のどこからでもブラウザでアクセスできる 運行管理Webアプリケーション



現場意見を反映した運行管理4大機能

走行指示

路線同様のダイヤ走行とホテルなど配車業務のオンデマンド走行が可能。

状態監視

車両の位置や状態、車内外の映像、乗客の走行中移動などの確認が可能。

緊急時対応

車内通話などで車内の乗客とコミュニケーションが可能。

走行可否判断

点呼・車両機器点検・ODD確認の簡易迅速な実施が可能。

多車種車両を簡単な同じ操作で運行管理 公共交通の人手不足を解消



さまざまなユーザアプリやインフラシステムと接続

Dispatcherに繋がる
世界中の車両の種類

30

タイプ以上

BOLDLY
UPDATE MOBILITY



サービスの価値

実用化

生活の役に立つこと
持続可能であること

BOLDLYは **トップランナー**

10ヶ所の実用化を達成

12

茨城県境町



岐阜県岐阜市



北海道上士幌町



愛知県日進市



新潟県弥彦村



三重県多気町



東京都大田区



千葉県横芝光町



愛媛県伊予市



石川県小松市



BOLDLYが実施した
自動運転バスの実証実験回数

150
回以上

BOLDLY
UPDATE MOBILITY



都心の事例

羽田イノベーションシティ

解禁！

レベル	内容	運転主体
Lv. 5	完全自動運転	システム
Lv. 4	ブレインオフ	システム
Lv. 3	アイズオフ	システム/人
Lv. 2	ハンズオフ	人
Lv. 1	運転支援	人





運行時間 10:30-16:30

走行距離 700m

定員 6~7名

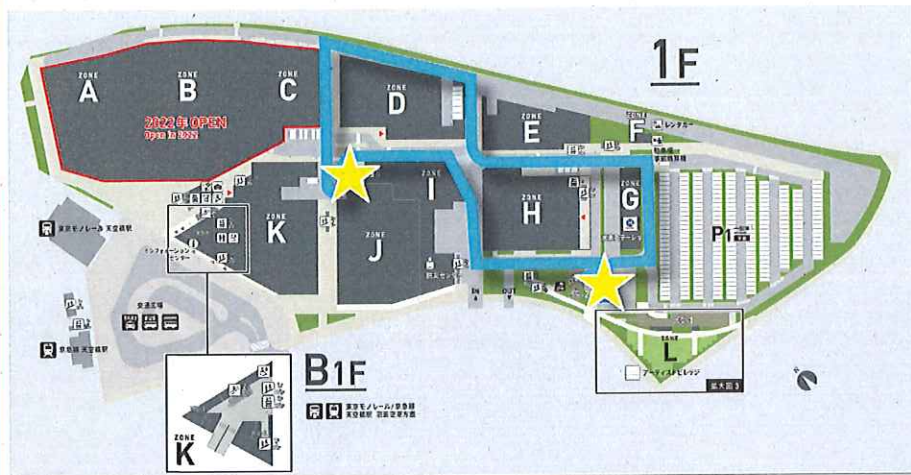
車両 ARMA/MiCa

ルート 駐車場と施設を結ぶ周回路

走行開始 2020年9月18日

料金 無料

羽田イノベーションシティ走行ルート



羽田空港への延伸



走行距離：往復約3.9km

走行時間：往復約30分（片道約15分）

走行速度：最大20km/h

走行ルート

羽田イノベーションシティ→羽田空港第3ターミナル



羽田空港第3ターミナル→羽田イノベーションシティ



完全無人運行 (閉鎖して実施)



横断歩道での停止・再発車



地方の事例

茨城県境町

茨城県境町 自動運転バス事業の概要

22



2020年11月

自治体初の定時・定路線自動運転バス運行を開始

累計乗車人数 **30,904名** (8/25時点)

累計走行便数 **22,419名** (8/25時点)

運行ルートを随時拡大

停留所：17箇所、便数：18便/日

フランス・NAVYA社製自動運転バス

ARMA 23



24

利用促進

町民との共創で自分たちのバスに

多くの町民が参加したデザインコンペの開催

境町の美術家・内海聖史氏と共にブランディング



23/48

安定運行

バス停の置き方が渋滞緩和に繋がる

20km/h
渋滞発生

走行時間2~6分の
短い間隔でバス停を設置し
バス停車中の
追い越しタイミングを増加



町民から提供された
私有地にバス停を設置し
バス停車中の
追い越しを容易で安全に

渋滞が
緩和

渋滞緩和のイメージ動画: <https://www.youtube.com/watch?v=QlPeLjZlMg>

25/48

安定運行

町民の行動変容、危険な追い越しは9割削減

走行中の危険な
追い越し走行経路にかかる
路上駐車

チラシ配布と車両表示で注意喚起



(走行中)
1便ごとの平均追い越し回数
河岸の駅さかい ~ シンパシーホール

2021年

4月	0.9回
11月	0.05回

9割以上
削減

26/48

安定運行

円滑な運行のために地域交通事業者と協力



地域交通事業者と連携したすみ分け

	町内循環	
	既存路線バス	自動運転バス
始点終点間距離	13 km	2.5 km
始点終点間時間	40 分	21 分
走行速度	60 km/h以下	20 km/h未満
乗車可能人数	60 人程度	11 人

28/48

住民の声

28

30代女性	地域を循環するバスがあれば子供でも自分で移動ができるようになる。 今までは子供の塾や公園の送り迎えも、親がやる負担が大きかった。
30代女性	これまで、小学生の通学路(ゾーン30)を、速度超過している車が多く心配だったが、自動運転バスが走ることで、 地域のペースメーカーになって、周りの車も速度を守るようになって安心している。
40代女性	難病を患う息子が境町の医療センターに通院しているが治療を嫌がって困っていた。 ところが、自動運転バスを目見てから「あのバスを見るために手術を頑張る」と言い勇気を出してくれた。
50代女性	病院前まで行く路線がなかったので助かる。生活拠点への用事がメインなので 急ぎではないので、20kmくらいのスピードでも問題ない。頻度が重要
60代女性	免許返納したので、家族の送り迎えがないと移動ができなかったが、 スーパーへの買い物や銀行、郵便局に一人で行けるのが便利。 自動運転バスのルート拡大に期待している。
30代男性	こまめにバス停があるので助かる。特に、新しく飲食店を始めたが、 バス停が近くにできたことで新しいお客さんが来てくれる効果も感じる。
40代男性	朝のニュースで、「境町の自動運転バスを見たよ!」「境町は進んでいいね」 と親戚から連絡があり、住む街に誇りと愛着が湧いている。
50代男性	銀行前や郵便局前に、路上駐車をしよう車が多かったが、 自動運転バスが通ることがニュースや回覧板で知らされてから路駐が減った。
60代男性	渋滞が心配だったが、途中にバス停が増えたので追い抜きがしやすくなり 渋滞が解消されるようになった。

BOLDLYが取り組む課題

少子高齢化
人口減少

ドライバー
不足

廃止路線
の増加

自動運転が求められている





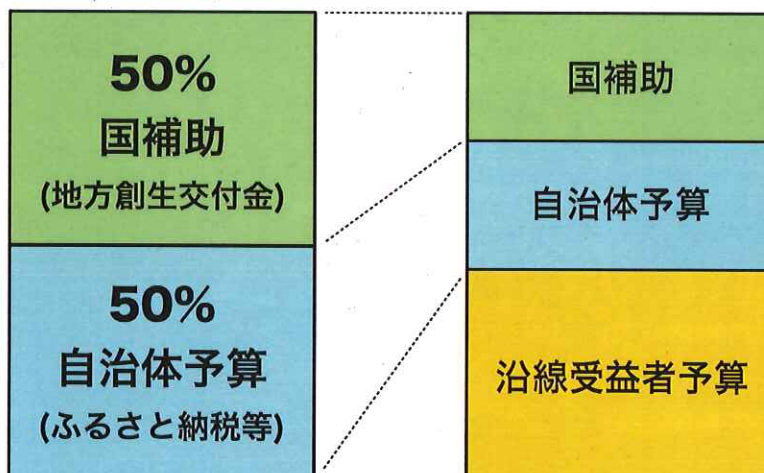
32

持続可能モデル = **運賃脱却**

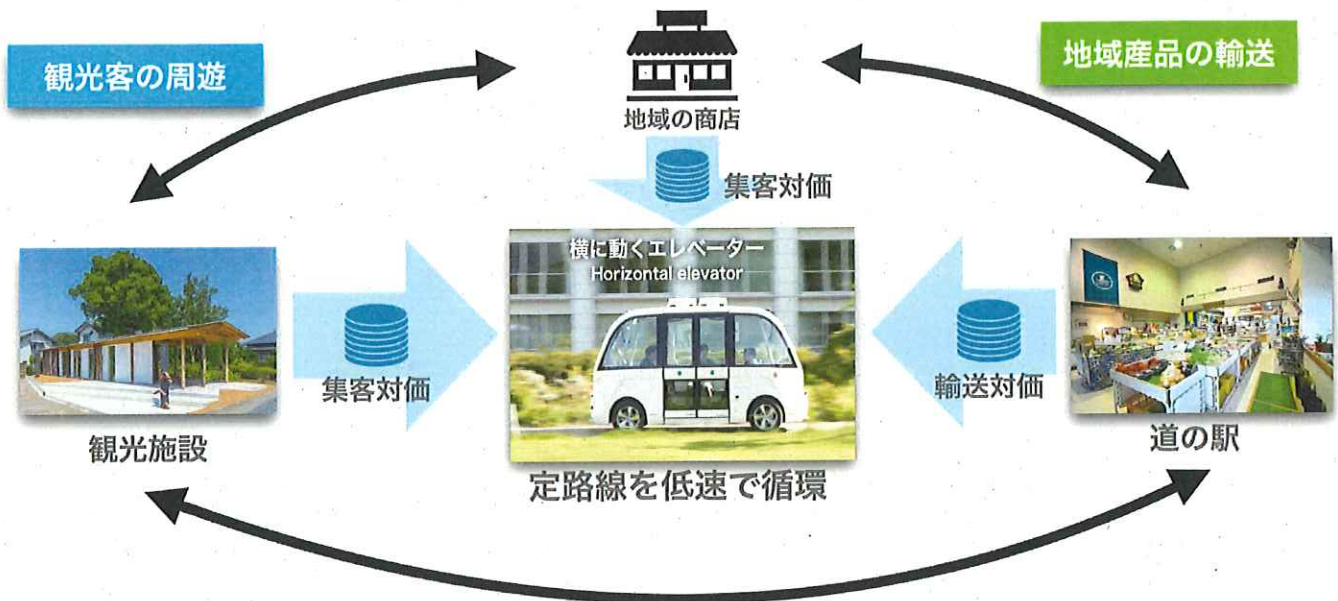
A. 都心モデル
(羽田・丸の内など)



B. 地域モデル
(茨城県 境町など)



運賃に依存しない自動運転バスならではのビジネスモデルの構築



**移動総量を増やし
地域経済を活性化**

**地域全体で
地域の足を支える**



27.96 億円

1. 広告宣伝効果

TV	NHKおはよう日本、ワールドビジネスサテライト、ヒルナンデス、その他多数
新聞	133件 約109,329文字

13.1 億円

12.2億円

0.9億円

2. 観光視察効果

観光視察ツアー	282件
ツアーに伴う消費購買行動	1,725人 (単価：2,500円)

0.16 億円

1,190万円

431万円

3. 町民消費効果

町内移動促進による消費	19,843人 (単価：1,000円)
-------------	---------------------

0.20 億円

1,984万円

4. 政府補助金効果

地方創生推進交付金
茨城県Society5.0 地域社会実装推進事業費補助金
国土交通省ビッグデータ活用事業
デジタル田園都市国家構想推進交付金

13.71 億円

2.6億円

0.1億円

0.1億円

10.91億円

5. 寄付効果

ふるさと納税	2019年度	376万円
	2020年度	2,027万円
	2021年度	1,478万円
企業版ふるさと納税	実績	2,000万円
	今後の予定	2,000万円

0.79 億円

※2021年～2023年8月

新型車両

auvetechn社 MiCa

新型車両 auvetech社「MiCa」

37

令和5年5月16日 お披露目会@東京大学
5月17日 試乗会@境町



令和5年6月18日 G7交通大臣会合@三重県多気町

38



